

新時代に対応した  
高等学校改革推進事業  
(普通科改革支援事業)

和歌山県立橋本高等学校

# 【和歌山県立橋本高等学校】学際領域学科（仮称）

**目的：変化する社会の課題に対応し、自己有用感を持ち社会貢献できる人材を育成する**

## 教育の概要

グローバル人材として活躍できるよう、コミュニケーション能力の育成を目指し、地域を含めた日本各地、また世界各国の社会人や高校生など、自分たちとは違う立場や環境にある人々との交流や、自分の研究について討議することで、多角的視点からの考察に基づく課題発表を実践する。

## タイムスケジュール

令和4年度・令和5年度（総合的な探究の時間）  
「世紀の空」開講に向けた研究・コンソーシアムの構築

## 学際領域学科（仮称）開設

学校設定科目「世紀の空」開講  
（3年間3単位）

## 「世紀の空」の概要

- 総合的な探究の時間・各教科との連携
- 他府県の高校生や国内外で活躍する社会人との討議
- 海外の高校生に和歌山の世界遺産や産業を英語で発信
- 「SDGs」をテーマとして課題設定し企業や大学と討議
- 地域→他地域→社会全体・世界全体と段階的に範囲を広げ、課題発見力を高める

多様な価値観との出会い、研究の深化、発表能力の向上  
複合的視点で課題解決の方法を模索・発信

## 関係機関との連携・共同体制 コンソーシアムの構築

# 橋本高校

運営指導委員会

世紀の空推進委員会  
事務局  
(コーディネーター配置)

## 地域等

橋本市役所  
株式会社 JTB

## 専門機関

和歌山大学

## 国際機関

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター  
日越関西友好協会  
国際協力機構 (JICA)

## 育む力

## 各力の概要

「関係形成  
・社会形成能力

他者の考えや立場を理解するとともに、自身の状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働する力

自己理解  
・自己管理能力

自己と社会との相互関係を保ちつつ、主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力

課題対応能力

様々な課題を発見・分析し、複合的視点から解決することができる力

目的：変化する社会の課題に対応し、自己有用感を持ち社会貢献できる人材を育成する

### 教育の概要

グローバル人材として活躍できるよう、コミュニケーション能力の育成を目指し、地域を含めた日本各地、また世界各国の社会人や高校生など、自分たちとは違う立場や環境にある人々との交流や、自分の研究について討議することで、多角的視点からの考察に基づく課題発表を実践する。

育む力

### 各力の概要

「関係形成  
・社会形成能力

他者の考えや立場を理解するとともに、自身の状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と**協力・協働する力**

自己理解  
・自己管理能力

自己と社会との相互関係を保ちつつ、主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために**進んで学ぼうとする力**

課題対応能力

様々な課題を**発見・分析**し、**複合的視点**から**解決**することができる力

## 教育の概要

グローバルに活躍できるよう、コミュニケーション能力の育成を目指し、地域を含めた日本各地、また世界各国の社会人や高校生など、自分たちとは違う立場や環境にある人々との交流や、自分の研究について討議することで、多角的視点からの考察に基づく課題発表を実践する。

### 育む力

### 各力の概要

#### 人間関係形成 社会形成能力

他者の考えや立場を理解するとともに、自身の状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と**協力・協働する力**

#### 自己理解 自己管理能力

自己と社会との相互関係を保ちつつ、主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために**進んで学ぼうとする力**

#### 課題対応能力

様々な課題を**発見・分析**し、**複合的視点**から**解決**することができる力

## 「世紀の空」の概要

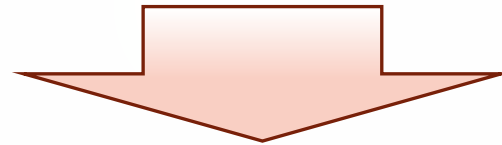
- 総合的な探究の時間・各教科との連携
- 他府県の高校生や国内外で活躍する社会人との討議
- 海外の高校生に和歌山の世界遺産や産業を英語で発信
- 「SDGs」をテーマとして課題設定し企業や大学と討議
- 地域→他地域→社会全体・世界全体と段階的に範囲を広げ、課題発見力を高める



多様な価値観との出会い、研究の深化、発表能力の向上  
複合的視点で課題解決の方法を模索・発信

## 学校設定科目「世紀の空」の概要

- 総合的な探究の時間・各教科との**連携**
- 他府県の高校生や国内外で活躍する**社会人**との**討議**
- 海外に和歌山の世界遺産や産業を**英語**で**発信**
- 「**SDGs**」をテーマとした学びを**企業**や**大学**と**連携**



- 自らの住む地域社会→他の地域社会→世界全体と段階的に範囲を広げ、**視野を広げる**とともに**課題発見力**を高める
- 多様な価値観**との出会い、**研究の深化**、**発表能力**の向上
- 複合的視点**で課題解決の方法を**模索**・**発信**

関係機関との連携・共同体制  
コンソーシアムの構築

# 橋本高校

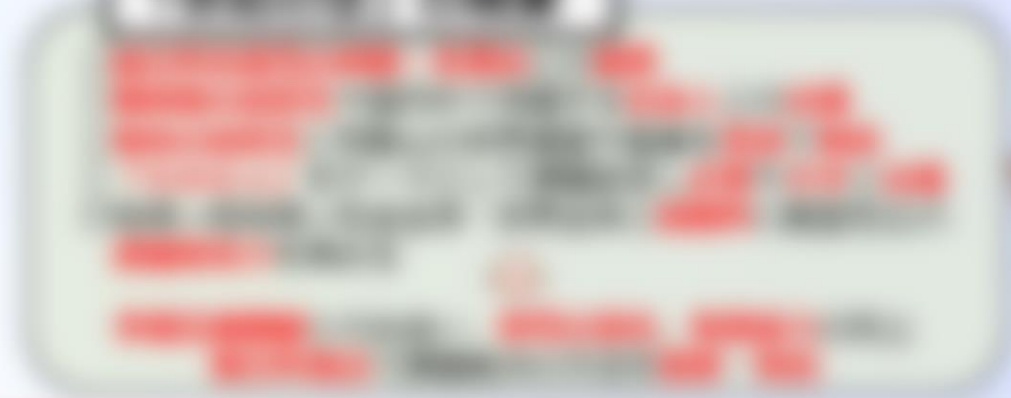
運営指導委員会

世紀の空推進委員会  
事務局  
(コーディネーター配置)

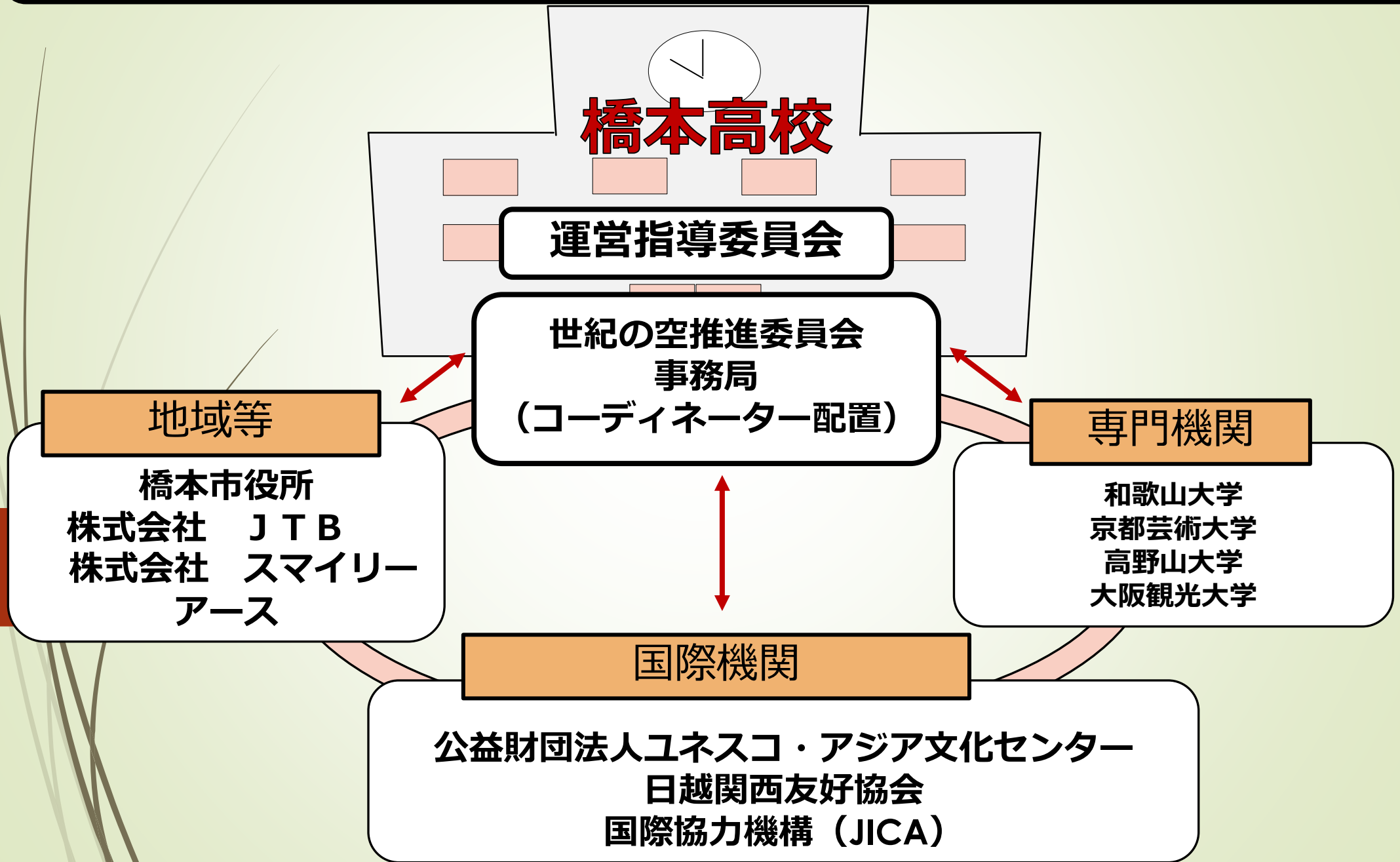
地域等  
橋本市役所  
株式会社 JTB

専門機関  
和歌山大学

国際機関  
公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター  
日越関西友好協会  
国際協力機構 (JICA)



# 関係機関との連携・共同体制・コンソーシアムの構築





活動  
時期

令和4年度活動実績

1 学年

2 学年

10月

- ・世界遺産事前事後学習
- ・世界遺産訪問
- ・県人会との国際交流・講演
- ・大阪観光大学留学生交流

- ・人権教育講演会
- ・平和学習講演会
- ・企業訪問
- ・プレゼンテーション講演会

1月

- ・橋本市役所への提案  
クラス内発表
- ・テーマ別発表の振り返り

- ・SDGs 探究AWARDS応募
- ・SDGs クラス内発表
- ・SDGs 探究活動の振り返り

2月

- ・橋本市役所への提案  
学年内発表

- ・SDGs クラス討議

3月

- ・橋本市役所への提案  
校内発表
- ・橋本市役所への提案  
市長プレゼンテーション
- ・橋本市役所への提案  
海外発信作成

- ・SDGs 校内発表
- ・国内高校生（北海道）との  
オンライン討論
- ・海外高校生（オーストラリア・台湾）とのオンライン討論

# 1年 世界遺産学習事前冊子

## 世界遺産高野山

～高野山の魅力を学習しよう～



和歌山県立橋本高等学校



〔19〕明治日本の産業革命遺産 構成資産は、岩手、静岡、山口、福岡、熊本、佐賀、長崎、鹿児島 の 8 県に所在。

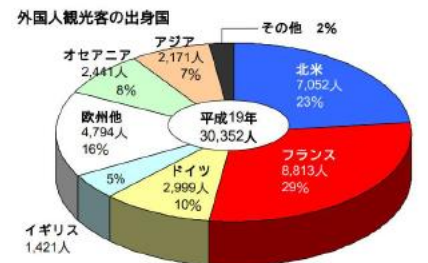
⑩	奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島	鹿児島県・沖縄県	令和2年	自然
⑪	北海道・北東北の縄文遺跡群	北海道・青森県・岩手県・秋田県	令和2年	文化

次の会話を読んで、後の設問に答えよ。

Aさん 「よいよ高野山に行く日が近づいてきたね。事前学習ははっちりだよ。早く行きたいな。」  
 Bさん 「僕、高野町民だから、ちよつとな……。せつかく遠足だったらユニバに行きたかったよ。」  
 Cさん 「王宮ね。私は皆田に住んでいるから、学校に行つてからバスで自分の家の前を通るのはなんと気分だね。」  
 Dさん 「えっ。皆田から登るの？私に前に車で高野山に行つた時は九度山を通つたから、ものすごく細い道で車酔いしてしまつたのよ。高野山へ行く道っていろいろあるのね。」  
 Eさん 「どういへば種高には高野山中学校出身の人は電車に乗るよ。どのくらい時間がかかるの？」  
 Bさん 「時間くらいかな。もちろん電車の中では勉強しているけどね。」  
 Aさん 「そんなにかえるんだ。校外学習の日はバスで奥の院まで行くからいいけれど、①観光バス以外の方法で行くことならどうやって奥の院まで行くんだ？」  
 Bさん 「王宮でも昔にはたたら便利になったよ。高野七口と呼ばれる参詣道があつて、どれも徒歩で高野山まで登つていく道なんだ。鍛えている僕でもきついでしょ。」  
 Eさん 「どうするわ。私は菩提院から大門までの②朝田道を通りたいところがあるの。険しい道を通っていくんだけど、清らかな空気が流れているように感じていたのね。」  
 Cさん 「平成十八年に世界遺産に追加された熊野古道もそうだよ。豊臣秀吉もこのルートを通つたことがあつたんだよ。」  
 Dさん 「習つて来たよ。着いてから歩いていって、着くまでの道程も楽しんでほしいな。観光つてそんなものなんだからね。周辺の地域の事情も知らないよ。その地域について理解できるとはいえないよ。」  
 Aさん 「事前学習の冊子はやり終えたけれど、自分でも高野山について調べてみようかな。」  
 Dさん 「近くに住んでいるからそこ知らないことはないね。遠足が楽しみになってきたわ。」

## 歴史 世界遺産 観光案内 資料読み取り

④高野山を訪れる外国人(国・地域別)



上の資料から読み取れることは何だろう。その理由も考えてみよう。

# 1年 世界遺産実地学習 (高野山)



# 1年 世界遺産学習当日・事後冊子

## 世界遺産高野山

～高野山の魅力を確かめよう～



和歌山県立橋本高等学校 14

【日時】…10月6日(木)

【集 合】…8:00 橋本高校内北門付近(グラウンド北側)

【解 散】…16:50(予定)

【服 装】…動きやすい服装・靴・靴

【持ち物】…冊子、探究ファイル、筆記用具、一人一台パソコン、雨具、薬(必要な)

【日程】

9:30

高野山大学講義 (山口文章先生)

10:45

I班(B,E)

11:00

精進料理体験 (一の橋観光センター)

12:00

12:10 (集合場所:一の橋) ← B組:12:10 E組:12:10

奥の院～中の橋

14:30

(集合場所:中の橋駐車場)

14:40

壇上加藍・高野山内散策

15:50

(集合場所:金剛峯寺前駐車場)

16:50

解散

II班(A,C,D)

11:00

壇上加藍・高野山内散策

12:10

(集合場所:高野山大学駐車場)

12:20

精進料理体験 (一の橋観光センター)

13:10

13:20 (集合場所:一の橋) ← C組:13:20 D組:13:25 A組:13:30

奥の院～中の橋

15:50

(集合場所:中の橋駐車場)

16:50

解散

高野山大学講演  
ガイドによる実地研修  
仏道体験  
史跡探索  
地域住民へのインタビュー  
散策の注意点

# 2年 SDGs 企業研修



## 2年 SDG s 企業訪問事後の感想

自分たちの考えていた課題に対して、一つの方法で考えるのではなく、**多面的**に物事を見られるように意識してやっていきたいと思いました。

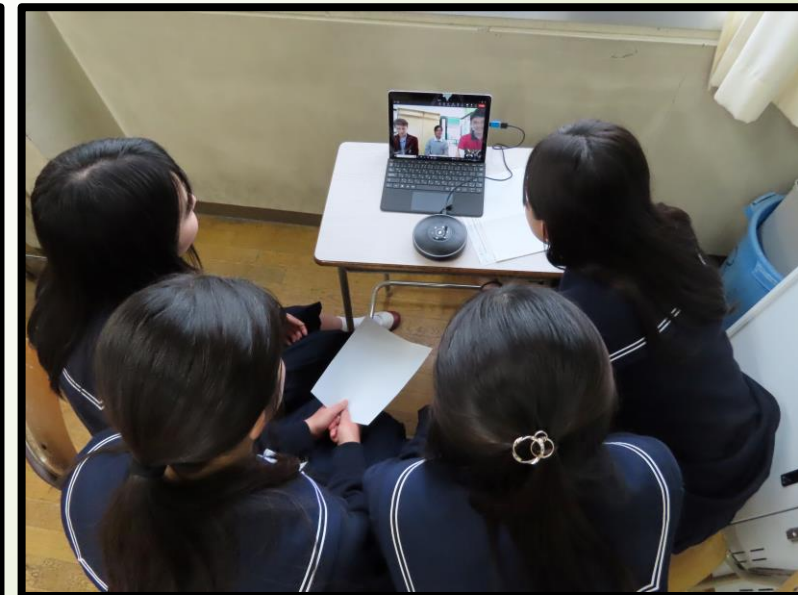
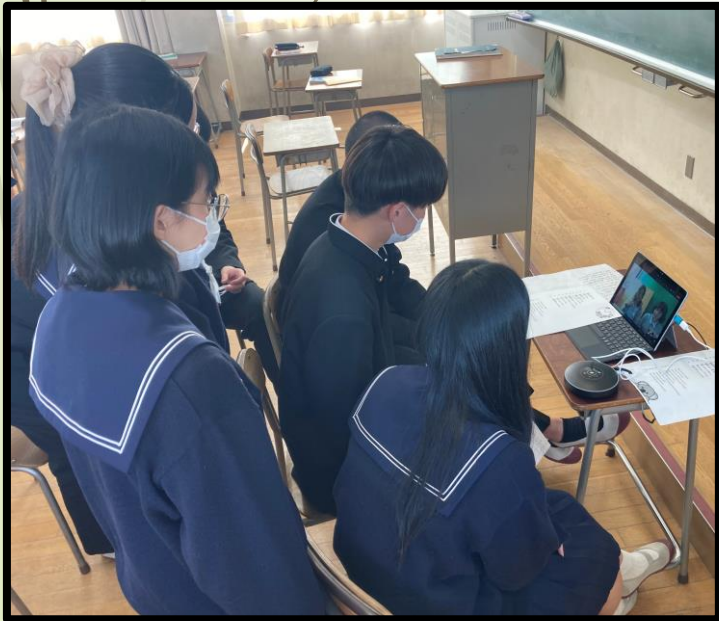
日本の**昔**の循環システムにも目も向ける必要があると知った。自分たちの行動が、**全体にとっての第一歩**になると意識することも大切だ。

課題に取り組むとき、ただ解決方法を考えるだけでなく、それに関わる人々やものとの**つながり**も意識して考えたいと思いました。

# 1, 2年 交流



釧路湖陵高校  
大阪観光大学留学生  
県人会・台湾  
オーストラリア



# 令和6年度入学生カリキュラム内容 概念図

	教科の働きかけ	世紀の空	総合的な探究の時間
1年		<b>世界遺産学習</b> プレゼンテーション講演 海外交流 国内の高校生との交流	地域課題研究
基本的スキルの習得・自身の周囲における課題発見・広い視野の習得			
2年		<b>ディベート</b> プレゼンテーション講演 <b>大学・企業訪問</b> 研修 海外交流 国内の高校生との交流	S D G s 課題研究 (3年次で改善)
先進的な学びの体験・社会全体の課題発見・解決に向けての実践力			
3年		<b>小論文</b> グループディスカッション	S D G s 課題追究 S D G s 卒業論文

論理的に伝える力・社会における課題をふまえ、自分自身の役割を熟考し、行動する力



# 今後の課題

各学年において、該当年度の単発的な取り組みとして終わる傾向がある。各取り組みについて、事前事後学習の内容をさらに充実させ、他の活動と関連付け、**継続**したものとする働きかけが必要である。

外部機関との連携をさらに強化し、現状は、教員側が設定した場において、生徒が行動するといった受動的なものとなっているが、生徒が自ら社会や地域に働きかけ、**能動的**に発信する場を設定する。

前年度は、カリキュラム上、この事業を総合的な探究の時間内で行わざるをえなかった。今後は、学校設定科目として各学年1単位設定することを見通した上で、総合的な探究の時間および各教科と相互に関連付けた**カリキュラム・マネジメントの充実**をはかる。

留学生や国内外の高校生との意見交流、討議をさらに**促進**する。